

# 輸送経済

12/22

THE YUSO-KEIZAI

第2875号 昭和24年4月23日 (第三種郵便物認可)

平成21年  
(2009)  
(火曜日)  
週刊

T Lロジコム

## ビクターの物流開始

### 来年、子会社全株取得で



鎌田 正彦社長

ビクターロジスティクス 革新を推進。  
(同、吉瀬文隆社長)の改革による業容の変化を踏まえ、物流事業の売却を含めた国内物流体制の見直しを検討し、物流数社を候補に協働相手を模索してきた。

ティールロジコム(TELロジコム、本社・東京、鎌田正彦社長)は来年二月末、日本ビクター(同・横浜市、河原春郎社長)の物流子会社・ティールロジコム(TELロジコム)が全株式を取得する。今後、最終合意と正式契約に向け取得価格などの協議に入り、二月末にTELロジコムが全株式を取得する。

株式取得で、メーカー系物流分野が一層強化され、顧客の広範な物流アウトソーシングニーズへの対応が可能になる。(SBSホールディングス)。

TELロジコムとは従来取引がなかったが、相互で最大化を図ることができるとして合意に至った。

全株式を譲渡することで、(SPL) (サードパーティ) ロジスティクスによる効率的な物流体制に移行し、核の事業に集中した経営で業績回復を急ぐ。(日本ビクター)。(水谷 周平)

ビクターの物流見直しが契機に

日本ビクターは業績回復に向け、経営を事業の核である音響・映像機器の研究開発、製造、販売に集中させるため構造改